



# DINION 5000 AN

VBN-5085



**BOSCH**

ja 設置マニュアル



# 目次

---

<b>1</b>	<b>安全にご使用いただくために</b>	<b>5</b>
1.1	安全に関する表示	5
1.2	システムアース / 安全アース	5
1.3	安全に関するご注意	6
1.4	重要な通知	7
1.5	FCC 規則について	8
1.6	UL 認証	8
1.7	Bosch からの通知事項	8

---

<b>2</b>	<b>はじめに</b>	<b>9</b>
2.1	特長	9

---

<b>3</b>	<b>設置</b>	<b>10</b>
3.1	開梱	10

---

<b>4</b>	<b>接続と取り付け</b>	<b>11</b>
4.1	電源接続	11
4.1.1	低電圧カメラ	11
4.1.2	高電圧カメラ	12
4.2	映像接続	13
4.2.1	出力映像信号	13
4.3	アラームおよびリレーコネクタ	14
4.4	レンズの取り付け	15
4.5	バックフォーカス調整	16
4.6	カメラの取り付け	18

---

<b>5</b>	<b>設定</b>	<b>19</b>
5.1	メニュー	19
5.1.1	最上位のメニュー	19
5.1.2	メニューナビゲーション	20
5.2	事前定義済みのモード	21
5.3	Day/Night ( デイナイト ) の切り替え	22
5.4	カメラ制御の通信方式 ( Bilinx )	22
5.5	[ Main ( メイン ) ] メニューの構造	23
5.5.1	[ Mode ( モード ) ] サブメニュー	23

5.5.2	[ Exposure ( 露出 ) ] サブメニュー	24
5.5.3	[ Day/Night ( デイナイト ) ] サブメニュー	26
5.5.4	[ Enhance/Dynamic Engine ( 拡張 / ダイナミックエンジン ) ] サブメニュー	28
5.5.5	[ Color ( カラー ) ] サブメニュー	30
5.5.6	[ VMD ] サブメニュー	31
5.5.7	[ Image Adjustment ( 画質調整 ) ] サブメニュー	33
5.6	[ Install ( 設置 ) ] メニューの構造	34
5.6.1	[ Language ( 言語 ) ] サブメニュー	35
5.6.2	[ Lens Wizard ( レンズウィザード ) ] サブメニュー	36
5.6.3	[ Synchronization ( 同期 ) ] サブメニュー	38
5.6.4	[ Alarm I/O ( アラーム I/O ) ] サブメニュー	39
5.6.5	[ Connections ( 接続 ) ] サブメニュー	40
5.6.6	[ Test signals ( 信号テスト ) ] サブメニュー	41
5.6.7	[ Camera ID ( カメラ ID ) ] サブメニュー	42
5.6.8	[ Privacy masking ( プライバシーマスク ) ] サブメニュー	44
5.6.9	[ Flip ( パン ) ] サブメニュー	45
5.6.10	[ Defaults ( デフォルト ) ] サブメニュー	45
<hr/>		
<b>6</b>	<b>トラブルシューティング</b>	<b>46</b>
6.1	問題の解決	46
6.2	カスタマーサービス	47
<hr/>		
<b>7</b>	<b>メンテナンス</b>	<b>48</b>
7.1	修理	48
7.1.1	譲渡および廃棄	48
<hr/>		
<b>8</b>	<b>技術データ</b>	<b>49</b>
8.1	仕様	49
8.1.1	外観図	52
8.1.2	アクセサリ	53

# 1 安全にご使用いただくために

## 1.1 安全に関する表示



### 危険

危険：この記号は「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」を示しています。



### 警告

警告：この記号は「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。



### 注意

注意：この記号は「傷害を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」を示しています。

## 1.2 システムアース / 安全アース

システム（映像）アースは記号 $\textcircled{\perp}$ で示されます。

安全（電源）アースは記号 $\textcircled{\text{⏚}}$ で示されます。

システムアースは、特定の国の安全基準や設置上の慣例に従う目的でのみ使用します。明示的に必要とされている場合を除き、システムアースを安全アースに接続することは**推奨しません**。ただし、システムアースと安全アースが接続され、アースループが映像信号の干渉の原因になっている場合は、絶縁変圧器（Bosch から別途購入可能）を使用してください。



### 注意

システムアースを安全アースに接続すると、アースループが発生し、防犯カメラシステムに障害をもたらす可能性があります。

## 1.3 安全に関するご注意

以下の安全のための注意事項をすべてお読みになり、これらの注意事項に従って製品を安全にお使いください。また、この冊子は今後でも参照できるように、確実に手元に保管してください。本機を使用する前に、本機に貼り付けられている警告や操作マニュアルに明記されている警告をすべて確認してください。

1. **清掃** - 通常は、乾いた布で拭くだけで十分ですが、湿らせた毛羽立たない布やセーム皮を使ってクリーニングすることもできます。液体クリーナーやクリーニングスプレーは使用しないでください。
2. **熱源** - ラジエーターやヒーター、ストーブなどの熱源（アンプを含む）の近くに本機を設置しないでください。
3. **水気** - 本機の上に液体をこぼさないでください。
4. **雷** - 電源や雷サージから本機を保護するための対策を実施してください。
5. **コントロール / 調整** - 操作マニュアルに記載されているコントロールのみを調整してください。誤って他のコントロール / 調整を行うと、本機が故障することがあります。
6. **電源** - ラベルに記載されている種類の電源以外、使用しないでください。
7. **修理** - 有資格者以外は、本機の修理を行わないでください。本機の修理は有資格のサービススタッフに依頼してください。
8. **交換部品** - 交換部品は弊社指定品を使用してください。
9. **設置** - 本機の設置は、弊社の規定や設置する地域の法規に従って行ってください。
10. **付属品の取り付け、本機の変更や改造** - 付属品やアクセサリは弊社指定品を使用してください。Bosch からの明示的な許可を得ずに本機を変更または改造した場合、保証が無効になることがあります。また、承諾契約を交わしている場合、本機を操作する権限が無効になることがあります。

## 1.4 重要な通知



**廃棄** - Bosch 製品は、リサイクルおよび再利用が可能な高品質の材質やコンポーネントを使用して開発、製造されています。この記号は、使用済みの電子部品や機器を家庭用のごみと分別して、回収および廃棄しなければならないことを示しています。通常、電子部品や機器は、国や地方自治体によって分別回収や廃棄方法が異なります。



### 警告

高電圧バージョンの電源の遮断：電源コードを電源コンセントに接続している間は、常に電力が供給されます。電源コードプラグが装置の主電源を遮断する手段となります。プラグ着脱可能な機器の場合、本機の近くにコンセントを設置し、簡単にアクセスできるようにしてください。



### 警告

全極型電源スイッチ：各極に最低 3mm の接点間隔を設けた、全極型電源スイッチを建物の電気設備に組み込んでください。



### 注意

ヒューズ定格：分岐回路保護は 16A の最大ヒューズ定格で安全を確保する必要があります。NEC800 (CEC セクション 60) に従ってください。



### 注意

低電圧電源ユニットは、EN/UL 60950 に準拠する必要があります。電源は SELV-LPS ( Safety Extra Low Voltage - Limited Power Source ) ユニット、または SELV - クラス 2 ユニットでなければなりません。

## 1.5 FCC 規則について

( 米国 およびカナダモデルのみ )

-  
-  
-  
-

当該製品の準拠内容に対して責任を負う者が明示的に承認していない改造を行うことは、意図的であるか否かを問わず禁止されています。

How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems

## 1.6 UL 認証

### 免責事項

Underwriter Laboratories Inc ( 以下 「UL」 ) では、本機のセキュリティや信号伝送に関する性能や信頼性のテストは行っていません。UL は、UL の 「*Standard(s) for Safety for Information Technology Equipment, UL 60950-1*」 で規定している火災、衝撃、事故の危険性についてのみテストを行っています。UL の認証は、本機のセキュリティや信号伝送に関する性能や信頼性を保証するものではありません。

UL は、本機のセキュリティや信号伝送に関する機能の性能や信頼性に関して、一切の表明、保証、認証を提供しません。

## 1.7 Bosch からの通知事項

### その他の情報

詳細については、Bosch Security Systems までお問い合わせいただくか、[www.boschsecurity.com](http://www.boschsecurity.com) をご覧ください。

## 2 はじめに

### 2.1 特長

DINION 5000 Day/Night ( デイナイト ) WDR カメラは、インテリジェントな高性能カラー監視カメラです。ワイドダイナミックレンジ 960H CCD センサーが組み込まれており、優れた高画質を実現します。

取り付けが容易で、すぐに使用でき、厳しい設置条件にも対応します。次のような特長を備えています。

- ワイドダイナミックレンジの 1/3 インチ 960H CCD センサー
- 赤外線フィルターの切り替え機能が付いた、本格的なデイナイト性能
- センサーの解像度 720TVL
- ハイダイナミックレンジ
- プライバシーゾーン
- 詳細な拡張機能
- Bilinx ( 双方向の同軸通信 )
- 広い動作温度範囲
- レンズウィザード
- 設定可能な 6 つの動作モード
- ダイナミックノイズ低減
- 多言語対応オンスクリーンディスプレイ
- テストパターンジェネレーター内蔵

## 3 設置

### 3.1 開梱

機器は慎重に開梱し、丁寧に扱ってください。

梱包には次のものが含まれています。

- DINION 5000 カメラ
- CCD 保護キャップ (カメラに取り付け済み)
- アラーム I/O コネクター
- 電源コネクター
- 安全に関するご注意
- クイックインストールガイド
- CD-ROM
  - 設置手順

輸送中に機器が損傷した場合は、元どおりに梱包し、発送元の代理店または購入元にご連絡ください。



#### 警告

本機の設置は、米国電気工事規程 *NEC800 (CEC セクション 60)* または該当する地域の法規に従って有資格者が行ってください。



#### 注意

カメラモジュールは壊れやすいため、慎重に扱ってください。

---

## 4 接続と取り付け



### 注意

作業を続ける前に、電源ケーブルを抜いておきます。本機の電圧が、使用する電源の電圧およびタイプと一致していることを確認してください。

### 4.1 電源接続

#### 4.1.1 低電圧カメラ

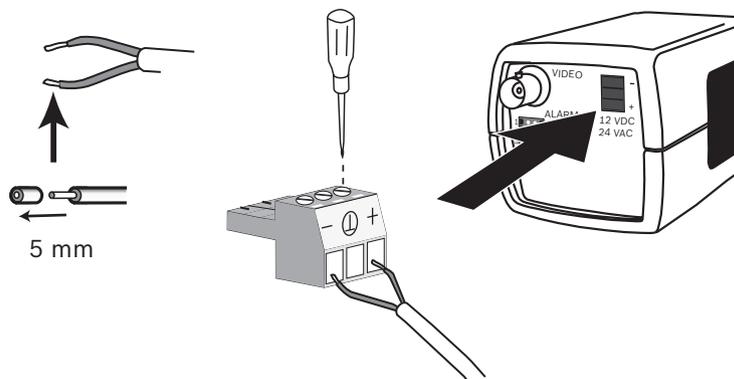


図 4.1 低電圧電源接続

次のようにして、電源を AC 24V または DC 12V のクラス 2 電源から接続します。

- AWG16 ~ 22 のより線または AWG16 ~ 26 の単線を使用します。先端から 5mm までは絶縁体を切り取ります。
- カメラ本体から 3 極コネクタを取り外します。
- ねじを緩めてケーブルを差し込みます。

### 注意

システム（映像）アースの中央接続はオプションです。システムアースを安全アースに接続すると、アースループが発生し、防犯カメラシステムに障害をもたらす可能性があります。

- ねじを締めて固定し、3 極コネクタをカメラに再び接続します。

**注意**

DC 電源では、極性が重要です。極性が正しくないと、カメラが損傷することはありませんが、電源はオンになりません。AC 電源の場合は、複数のカメラシステムで配線極性を統一しておくこと、カメラ映像の垂直同期ずれを避けることができます。

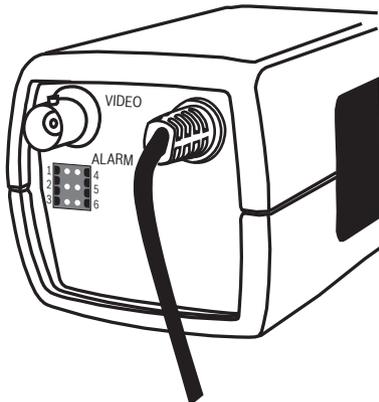
**4.1.2 高電圧カメラ**

図 4.2 高電圧電源接続

高電圧カメラの電源ケーブルを AC 230V の電源コンセントに差し込みます。

## 4.2 映像接続

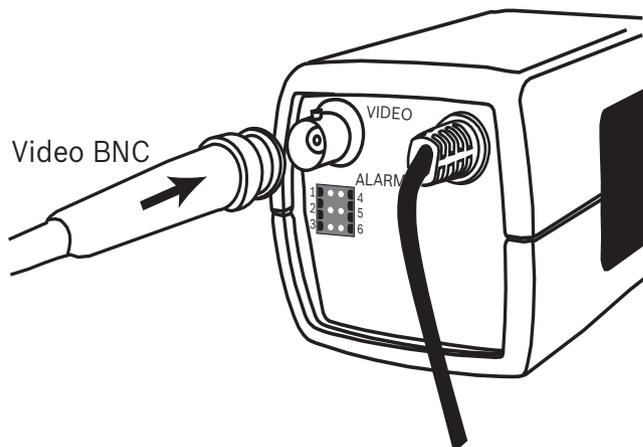


図 4.3 BNC コネクター

### 4.2.1 出力映像信号

カメラには BNC コネクターがあり、映像同軸ケーブルをオス BNC コネクターに接続します。オプションのアクセサリとして使用可能な UTP アダプター (VDA-455UTP) を使用すると、UTP 映像ケーブルを BNC コネクターに接続することができます。

## 4.3 アラームおよびリレーコネクター



図 4.4 アラームおよびリレーコネクターピン

ピン	アラームソケット
1	アラーム入力
2	未使用
3	リレー出力接点 2
4	アラーム入力アース
5	未使用
6	リレー出力接点 1

- より線および単線の最大ケーブル直径 AWG 22 ~ 28、絶縁体を 5 mm 除去
- アラーム出力のリレースイッチ機能：最大電圧 AC 30V または DC + 40V 最大 0.5A (連続)、10VA
- アラーム入力：TTL ロジック、+ 5V (公称)、DC + 40V (最大)、+ 3.3V (プルアップ抵抗 22kΩ)
- アラーム入力：アクティブハイまたはアクティブローに設定可能
- 絶縁：カメラアースと各リレーピンの間で最大 42V まで

## 4.4 レンズの取り付け

カメラでは CS マウントレンズを使用できます。C マウントレンズを取り付ける場合は、レンズアダプターリングを使用してください。画質を良くするためには、DC アイリスレンズを推奨します。

### 注意



C マウントレンズを使用する場合は、CCD センサーが破損しないように、付属のレンズアダプターリングがカメラに取り付けられていることを確認してから、レンズを取り付けてください。

重さが 0.5kg ( 1.1 ポンド ) を超えるレンズを使用する場合は、別途、支持具を用意する必要があります。

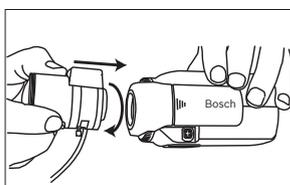


図 4.5 レンズの取り付け

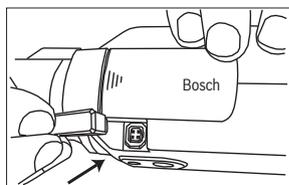


図 4.6 レンズコネクタ

ピン	DC アイリスレンズ	
1	制動コイル ( - )	
2	制動コイル ( + )	
3	駆動コイル ( + )	
4	駆動コイル ( - )	

### 注意

レンズコネクタのショートが検出されると、「LENS SHORT CIRCUIT ( レンズの回路がショートしています )」というオンスクリーンディスプレイ ( OSD ) 障害メッセージが表示されます。内部の損傷を防ぐために、レンズ回路は自動的に遮断されます。レンズコネクタを取り外し、ピンの接続を確認してください。

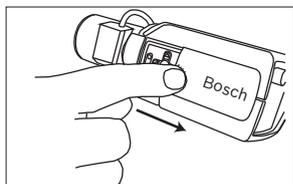
## 4.5 バックフォーカス調整

周囲照明条件に合った鮮明な画像を撮影するには、バックフォーカスを調整します。カメラ専用のレンズウィザードを使用してください。バックフォーカスを調整することによって、レンズのアイリスを最大に開放してフォーカスしても（たとえば夜間など）、対象に常にフォーカスを合わせることができます。

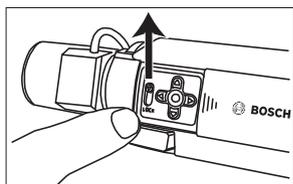
- バリフォーカルレンズのバックフォーカスを調整する場合は、遠焦点と近焦点の両方において、広角ポジションと望遠ポジションの画像が鮮明になるように調整します。
- ズームレンズのバックフォーカスを調整する場合は、レンズの全ズーム範囲にわたって目的の対象物にフォーカスが合っていることを確認してください。

バックフォーカスを調整するには、次の手順に従います。

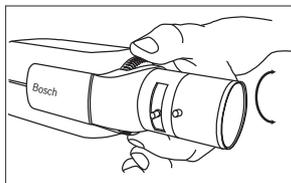
1. カメラ側面のスライドドアパネルを開きます。



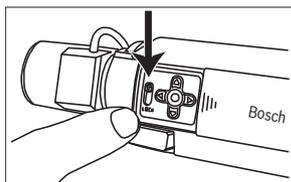
1. バックフォーカスロックボタンを解除します。



2. **[ Install (設置) ]** メニューが表示されるまで、中央のキーを 1 秒以上押し続けます。
3. **[ Lens Wizard (レンズウィザード) ]** を選択し、カーソルを **[ Set Back Focus Now (バックフォーカス設定) ]** 項目に移動します。
4. バックフォーカスを必要に応じて調整します。

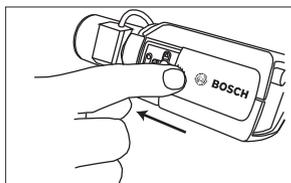


5. バックフォーカスロックボタンをロックします。



6. すべてのメニューが消えるまで、中央のキーを1秒よりも長く押し続けます。

7. サイドドアパネルを閉じます。



## 4.6 カメラの取り付け

カメラは上部または下部から取り付けることができます（1/4 インチ 20UNC ネジ）。下側の取付部は、グラウンドループを避けるために、アース端子から絶縁されています。

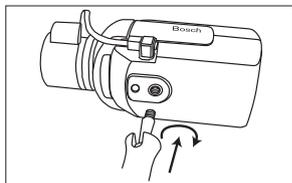


図 4.7 カメラの取り付け



### 注意

カメラまたはレンズを直接太陽に向けないでください。センサーが損傷する恐れがあります。

### 注意：

屋内および屋外の取り付け用にさまざまなアクセサリが用意されています。

## 5 設定

このカメラは通常、詳細な調整をしなくても最適な画質を提供しますが、メニューシステムで高度な設定オプションを使用すると、特殊な状況下でも最適な結果が得られます。

変更はすぐにカメラに反映されるので、変更前後の設定を簡単に比較することができます。

### 5.1 メニュー

#### 5.1.1 最上位のメニュー

[ Main (メイン) ]メニューと [ Install (設置) ]メニューという2つの上位レベルのメニューが用意されています。これらのメニューの機能を直接選択することも、サブメニューを選択してより詳細な設定を行うことも可能です。

- [ Main (メイン) ]メニューにアクセスするには、メニュー / 選択 (中央) ボタンを短く押します (1秒未満)。モニターに [ Main (メイン) ]メニューが表示されます。**?Main??????**メニューでは、画像拡張機能を選択して設定することができます。変更結果に満足できない場合は、いつでもモードのデフォルト値に戻すことが可能です。
- カメラには、設置の設定を変更できる [ Install (設置) ]メニューもあります。**?Install?????**メニューにアクセスするには、メニュー / 選択 (中央) ボタンを2秒よりも長く押し続けます。

## 5.1.2 メニューナビゲーション

サイドドアパネルの下にある5つのキーを使用して、メニューシステムを操作します。

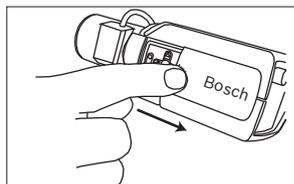


図 5.1 サイドパネルドア

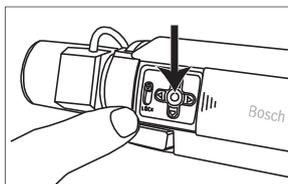


図 5.2 メニュー / 選択キー

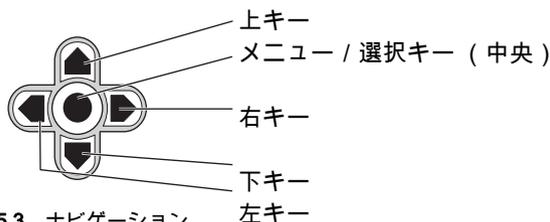


図 5.3 ナビゲーション

- 上キーまたは下キーを使用して、メニュー内をスクロールします。
- 左キーまたは右キーを使用して、各オプション間の移動やパラメーターの設定を行います。
- メニュー内でメニュー / 選択キーをすばやく2回押すと、選択した項目を工場出荷時のデフォルトに戻すことができます。
- すべてのメニューを同時に閉じるには、メニュー表示が消えるまでメニュー / 選択キーを押し続けるか、[ Exit (終了) ] を連続して選択します。

一部のメニューは約2分で自動的に閉じますが、手動で閉じる必要があるメニューもあります。

## 5.2 事前定義済みのモード

事前に定義された6つのモードがあり、簡単に設定することができます。[Install/Mode (設置 / モード)] サブメニューで、事前に定義された6つのモードのいずれかを選択できます。各モードは次のように定義されています。

1. **[ 24-hour (24 時間) ]**  
デフォルトの設置モードで、24 時間にわたって安定した画像を提供します。これらの設定は、カスタマイズせずに設置する場合に最適です。
2. **[ Traffic (トラフィック) ]**  
さまざまな照明条件で、デフォルトのシャッターを使用して高速な物体を取り込みます。
3. **[ Low light (低光量) ]**  
暗い場所でも有用な画像になるように、AGC や感度アップなどの拡張機能を使用します。
4. **[ Smart BLC (スマート BLC) ]**  
高コントラストかつ非常に明暗がはっきりした状況で、細部を取り込むように最適化された設定です。
5. **[ Low noise (低ノイズ) ]**  
画像のノイズを低下させるように拡張機能が設定されます。必要とされるストレージ量はノイズの低下によって減少するため、条件によって更新されるデジタルビデオレコーダーおよび IP ストレージシステムに適しています。
6. **[ Vibrant (鮮明) ]**  
このモードでは、コントラスト、鮮明さ、および彩度が強調されます。

## 5.3 Day/Night ( デイナイト ) の切り替え

このカメラは、電動の赤外線 ( IR ) フィルターを備えています。光量の少ない場所や赤外線が照射された場所で使用する際には、ソフトウェア設定により、機械式の赤外線フィルターは取り外してもかまいません。

[ **Auto ( オート )** ] 切り替えモードを選択すると、検知された光量レベルに応じてカメラが自動的にフィルターを切り替えます。切り替えレベルはプログラム可能です。 [ **Auto ( オート )** ] 切り替えモードでは、カメラは動き優先 ( 照明レベルが許す限り、動いている対象でもブレを生じさせずシャープな画像を提供 ) またはカラー優先 ( 照明レベルが許す限り、カラー画像を提供 ) で動作します。カメラは赤外線が照射された撮影シーンを認識し、カラーモードへの不向きな切り替えが防止されます。

赤外線フィルターを制御するには、次の 4 つの方法があります。

- アラーム入力経由
- Bilinx 通信経由
- 検知された照明レベルに基づいて自動的に切り替える
- プロファイルのプログラムに組み込む

## 5.4 カメラ制御の通信方式 ( Bilinx )

このカメラは、同軸を利用した通信機能 ( Bilinx と呼ばれます ) を備えています。VP-CFGSFT と組み合わせると、カメラの設定を同軸ケーブルを利用して任意の地点から変更できます。また、すべてのメニューにリモートアクセスしてカメラを完全に制御することが可能です。この通信方式を使用する場合は、カメラのローカルキーを無効にすることもできます。取り付け済みのカメラとの通信が切断されないように、リモートコントロールを使用している間は [ **Communication On/Off ( 通信オン / オフ )** ] を選択することはできません。この機能にはカメラボタンからのみアクセス可能です。Bilinx 通信を無効にする場合は、カメラボタンを使用する必要があります。

### カメラボタンの無効化

Bilinx 通信リンクがアクティブになっているとき、カメラボタンは無効になります。

## 5.5 [ Main (メイン) ] メニューの構造

項目	選択肢	説明
Mode (モード)	サブメニュー	1 ~ 6 の動作モードを設定
Exposure (露出)	サブメニュー	露出調整
Day/Night (デイナイト)	サブメニュー	カラー / モノクロ動作のデイモードとナイトモードを切り替え
Enhance (エンハンス)	サブメニュー	画像拡張と画質
Color (カラー)	サブメニュー	ホワイトバランスと演色
VMD	サブメニュー	映像動体検出機能
Image Adjustment (画質調整)	サブメニュー	デジタルズームまたはデジタルブレ補正を設定

### 5.5.1 [ Mode (モード) ] サブメニュー

項目	選択肢	説明
Mode (モード)	1 ~ 6	動作モードを選択します。
Mode ID (モードID)	英数字	モード名 (11文字以内)。
Copy active mode (アクティブなモードのコピー)	使用可能なモード番号	選択したモード番号に現在のモード設定をコピーします。

項目	選択肢	説明
Mode Defaults (モードのデフォルト)	サブメニュー	工場出荷時のデフォルト設定に戻します。
EXIT (終了)		[ Main (メイン) ] メニューに戻ります。

### 5.5.2 [ Exposure (露出) ] サブメニュー

項目	選択肢	説明
ALC level ( ALC レベル )	- 15 ~ + 15	映像レベルの範囲を選択します。暗い場所では正の値が有用で、非常に明るい場所では負の値が有用です。 ALC を多少調整することで、スマート BLC が有効なときにシーンのコンテンツが向上する可能性があります。
ALC speed ( ALC 速度 )	Slow ( 低速 )、Medium ( 中速度 )、Fast ( 高速度 )	映像レベル制御ループを調整します。ほとんどのシーンでは、デフォルト値のままにしてください。
Shutter ( シャッター )	AES、FL、Fixed ( 固定 )	[ AES ( 自動シャッター ) ] - 最適なシャッター速度が自動的に設定されます。 [ FL ] - フリッカーレスモードは、光源による干渉を防止します ( DC アイリスレンズでのみ使用することを推奨 )。 [ Fixed ( 固定 ) ] - ユーザーが定義したシャッター速度を選択できます。

項目	選択肢	説明
Default (AES) shutter (デフォルト (AES) シャッター) または Fixed shutter (固定シャッター)	1/50 (PAL) 1/60 (NTSC)、 1/100 (PAL) 1/120 (NTSC)、 1/250、 1/500、 1/1000、 1/2000、 1/4000、 1/10K、 1/100K	[ DEFAULT (AES) mode (デフォルト (AES) モード) ] では、選択したシャッター速度をシーンの光量の許容範囲内で維持するように動作します。 [ Fixed mode (固定モード) ] では、シャッター速度を選択します。
Actual shutter (実際のシャッター)		カメラから取得した実際のシャッター値を表示して、調整時に光量と最適なシャッター速度を比較できるようにします。
Gain control (ゲイン調整)	On (オン)、 Fixed (固定)	[ On (オン) ] - 高画質を維持するため、ゲインを自動的に最低限の値に設定します。 [ Fixed (固定) ] - 固定 AGC 値を設定します。
Maximum AGC (最大 AGC) または Fixed AGC (固定 AGC)	0 ~ 40dB	AGC 動作中のゲインの最大値を選択します。 固定ゲイン動作の場合は、ゲイン設定を選択します (0 はゲインなし)。
Actual AGC (実際の AGC)		カメラから取得した実際の AGC 値を表示して、光量によるゲインレベルと画質を比較できるようにします。

項目	選択肢	説明
SensUp Dynamic ( 感度アップダイナミック )	Off ( オフ )、2 倍、3 倍、...、10 倍	カメラの感度を上げる度合いを倍数で指定します。 アクティブにすると、画像にノイズやスポットが現れる場合がありますが、これは正常なカメラ動作です。また、動く物体がぼやける場合もあります。
EXIT ( 終了 )		[ Main ( メイン ) ] メニューに戻ります。

### 5.5.3 [ Day/Night ( デイナイト ) ] サブメニュー

項目	選択肢	説明
Day/Night ( デイナイト )	Auto ( オート )、Color ( カラー )、Monochrome ( モノクロ )	[ Auto ( オート ) ] - シーンの光量に応じて、赤外線カットオフフィルターのオン / オフを切り替えます。 [ Color ( カラー ) ] - 光量に関係なく、常にカラー信号を生成します。 [ Monochrome ( モノクロ ) ] - 赤外線カットオフフィルターを除去して赤外線をフル感度にします。
Switch level ( 切り替えレベル )	- 15 ~ + 15	オートモードのカメラをモノクロ動作に切り替える映像レベルを設定します。低い値 ( 負 ) を指定すると、カメラは低光量でモノクロに切り替わります。高い値 ( 正 ) を指定すると、カメラは高光量でモノクロに切り替わります。
Switch delay ( 切り替え遅延 )	1、2、3、5、10、20、30、60、120、240 秒	オートモードでデイモードからナイトモードに切り替える際の検証時間を設定します。

項目	選択肢	説明
Priority (優先度)	Motion (動き優先)、Color (カラー)	オートモードの場合： [ Color (カラー) ] - 光量の許容範囲内でカラー画像を表示します。 [ Motion (動き優先) ] - 適切な照明レベルを得られる限り、動いている対象でもブレが生じないようにします ([ Color (カラー) ] 優先の場合よりも速やかにモノクロに切り替わります)。
IR contrast (IR コントラスト) (モノクロ)	Enhanced (拡張)、Normal (通常)	[ Enhanced (拡張) ] - 赤外線照射レベルの高い場所でのコントラストを自動的に最適化します。光源が赤外線 (730 ~ 940nm) の場合や、草木の茂ったシーンの場合に、このモードを選択してください。 [ Normal (通常) ] - 可視光線が照射された場所でのモノクロ撮影のコントラストを自動的に最適化します。
IR illumination (IR 照明) (モノクロ)	0 ~ +15	ナイトモードからデイモードに切り替えるタイミングを決定する、外部 IR 照明の強さを入力します。0 にすると IR 照明がなくなり、+15 にすると非常に強い照明になります。
Color burst (カラーバースト) (モノクロ)	On (オン)、Off (オフ)	[ Off (オフ) ] - 映像信号のカラーバーストをモノクロモードで [ Off (オフ) ] にします。 [ On (オン) ] - モノクロモードでもカラーバーストをアクティブな状態に保ちます (特定のデジタルビデオレコーダーと IP エンコーダーが必要です)。
EXIT (終了)		[ Main (メイン) ] メニューに戻ります。

## 5.5.4 [ Enhance/Dynamic Engine ( 拡張 / ダイナミックエンジン ) ] サブメニュー

項目	選択肢	説明
Dynamic Engine ( ダイナミックエンジン )	Off ( オフ )、 XF DYNAMIC ( XF ダイナミック )、 HDR、 Smart BLC ( スマート BLC )	<p>[ Off ( オフ ) ] - 自動的なシーンの詳細設定と拡張機能をオフにします ( テスト時のみ使用することを推奨 )。</p> <p>[ XF DYNAMIC ( XF ダイナミック ) ] - 可視性を向上させるために追加の内部処理を有効にします。</p> <p>[ HDR ] - デュアルセンサー露出を [ XF DYNAMIC ( XF ダイナミック ) ] 機能に追加します。厳しい照明条件では、各露出によるピクセルが合成されて、より詳細な画像が生成されます。</p> <p>[ Smart BLC ( スマート BLC ) ] - BLC 範囲と重み付けが自動的に定義されます。変化する照明条件に合わせて動的に調整されます。</p>
Contrast Enhancement ( コントラスト増強 )	Low ( 低 )、 Medium ( 中 )、 High ( 高 )	<p>中程度の輝度レベルでコントラストを引き上げます。</p> <p>高コントラストのシーンでは [ Low ( 低 ) ] を選択します。低コントラストのシーン ( 霧など ) では [ High ( 高 ) ] を選択します。</p>
Sharpness ( シャープネス )	- 15 ~ + 15	<p>画像のシャープネスを調整します。0 はデフォルトの設定に対応します。</p> <p>低い値 ( 負 ) を指定すると、画像のシャープネスが下がります。シャープネスを上げると、細部の視認性が上がります。シャープネスを非常に強くすると、ナンバープレート、風貌、ある面の端などをはっきりさせることができます。</p>

項目	選択肢	説明
3D-NR	Off ( オフ )、 Low ( 低 )、 Medium ( 中 )、 High ( 高 )	画像のノイズを自動的に軽減します。 この設定によってカメラの直前にある非常に高速な動体がぼやける場合があります。これを解消するには、画角を広くしたり、小さい値を選択したりします。
2D-NR	Off ( オフ )、 Low ( 低 )、 Medium ( 中 )、 High ( 高 )	画像のノイズを自動的に軽減します。 [ High ( 高 ) ] を選択すると、ぼやける場合があります。 [ Low ( 低 ) ] を選択すると、シャープネスが向上しますがノイズが増加します。
Peak White Invert ( ピークホワイト反転 )	On ( オン )、 Off ( オフ )	[ Peak White Invert ( ピークホワイト反転 ) ] を使用すると、CRT/LCD ディスプレイのグレアを抑えることができます。 ANPR/LPR 用途で使用した場合は、ヘッドライトによるグレアが抑えられます ( その用途でメリットがあることと、セキュリティシステムオペレーターの気が散らないことを、実機でテストしてください )。
EXIT ( 終了 )		[ Main ( メイン ) ] メニューに戻ります。

## 5.5.5 [ Color ( カラー ) ] サブメニュー

項目	選択肢	説明
White balance ( ホワイトバランス )	ATW indoor ( ATW ( 屋 内 ) )、 ATW Outdoor ( ATW ( 屋 外 ) )、 ATW hold ( ATW 維持 )、 Manual ( マニ ュアル )	[ ATW ] - ホワイトバランスを自動追跡して、常に最適な色を再現するように調整されます。 [ ATW 維持 ] - [ ATW ] を固定し、カラー設定を保存します。 [ マニュアル ] - [ Red gain ( 赤ゲイン ) ] と [ Blue gain ( 青ゲイン ) ] を目的の位置に手動で設定できます。
Speed ( 速度 )	Fast ( 高速 度 )、 Medium ( 中速 度 )、 Slow ( 低速 度 )	ホワイトバランス制御ループの速度を調整します。
Red gain ( 赤 ゲイン )	- 50 ~ + 50	[ Manual ( マニュアル ) ] および [ ATW hold ( ATW 維持 ) ] の場合 - [ Red gain ( 赤ゲイン ) ] を調整します。
Blue gain ( 青 ゲイン )	- 50 ~ + 50	[ Manual ( マニュアル ) ] および [ ATW hold ( ATW 維持 ) ] の場合 - [ Blue gain ( 青ゲイン ) ] を調整します。
Saturation ( 彩 度 )	- 15 ~ + 15	彩度を調整します。-15 にするとモノクロ画像になり、0 にするとデフォルトの彩度になります。+15 にすると彩度が最高になります。
EXIT ( 終了 )		[ Main ( メイン ) ] メニューに戻ります。

## 5.5.6 [ VMD ] サブメニュー

項目	選択肢	説明
VMD area ( VMD 領域 )	サブメニュー	4 つの領域のうちの 1 つを選択し、領域の設定メニューを表示して検出領域を定義します。
VMD mode ( VMD モード )	Off ( OSD オフ )、Silent ( サイレント )、OSD	[ Off ( オフ ) ] - 映像動体検出機能 ( VMD ) をオフにします。 [ Silent ( サイレント ) ] - 映像動体によってサイレントアラームを生成します。 [ OSD ] - 映像動体によってオンスクリーンテキストメッセージアラームを生成します。
VMD sensitivity ( VMD 感度 )	0 ~ 127	動体検出の感度を必要なレベルに設定します。白いバーが長くなるほど、VMD アラームをアクティブにするために必要な動きの量が増加します。設定したレベルより大きい動きが検出されると、アラームがアクティブになります。
OSD alarm text ( OSD アラームテキスト )	英数字	オンスクリーンディスプレイアラームのテキスト ( 最大 16 文字 )。
EXIT ( 終了 )		[ Main ( メイン ) ] メニューに戻ります。

### VMD マスク領域の選択

VMD マスクの領域を設定するには、[ VMD ] メニューの [ **VMD Area ( VMD 領域 )** ] オプションを選択して、[ Area ( 領域 ) ] メニューにアクセスします。[ **Area ( 領域 )** ] メニューでは、左上に現在の領域が点滅して表示されます。画像の点滅している角は、[ Up ( 上 ) ]、[ Down ( 下 ) ]、[ Left ( 左 ) ]、[ Right ( 右 ) ] の矢印キーを使用して移動することができます。[ Select ( 選択 ) ] キー

を押すと、点滅しているカーソルが反対側の角に移動します (この時点で、この角は移動可能になります)。 [ Select ( 選択 ) ] をもう一度押すと、この領域がフリーズされ、領域メニューが閉じま

す。

### 5.5.7 [ Image Adjustment (画質調整) ] サブメニュー

項目	選択肢	説明
Digital Zoom ( デジタルズーム )	1 倍、2 倍、4 倍、8 倍、16 倍	ズーム倍率を選択します。
DIS	Off ( オフ )、 On ( オン )	[ On ( オン ) ] を選択すると画像が補正されます。
EXIT ( 終了 )		[ Main ( メイン ) ] メニューに戻ります。

## 5.6 [ Install ( 設置 ) ] メニューの構造

項目	選択肢	説明
Language ( 言語 )	サブメニュー	オンスクリーンディスプレイ ( OSD ) の言語を選択
Lens Wizard ( レンズウィザード )	サブメニュー	カメラレンズの組み合わせのバックフォーカスポイントを最適化
Synchronization ( 同期 )	サブメニュー	同期パラメーターを設定
Alarm I/O ( アラーム I/O )	サブメニュー	アラーム入力とアラーム出力の機能をプログラミング
Connections ( 接続 )	サブメニュー	接続パラメーター
Test signals ( 信号テスト )	サブメニュー	パターンとテキストをテスト
Camera ID ( カメラ ID )	サブメニュー	[ ID ] サブメニューにアクセス
Privacy masking ( プライバシーマスク )	サブメニュー	マスク領域を設定
Flip ( パン )	サブメニュー	パン用のサブメニューを選択します。
Default ALL ( すべてデフォルト )	サブメニュー	すべてのモードのすべての設定を工場出荷時のデフォルトに戻します。

### 5.6.1 [ Language ( 言語 ) ] サブメニュー

項目	選択肢	説明
Language ( 言語 )	English ( 英語 ) Spanish ( スペイン語 ) French ( フランス語 ) German ( ドイツ語 ) Portuguese ( ポルトガル語 ) Russian ( ロシア語 ) Simplified Chinese ( 簡体字中国語 )	OSD のメニューを選択した言語で表示します。
EXIT ( 終了 )		[ Install ( 設置 ) ] メニューに戻ります。

## 5.6.2 [ Lens Wizard ( レンズウィザード ) ] サブメニュー

項目	選択肢	説明
Lens type ( レンズタイプ )	Manual ( マニュアル )、 DC-iris ( DC アイリス )	カメラが適切なレンズモードになるように、対応するレンズの種類を選択します。
DC-iris setup ( DC アイリスの設定 )	Open ( 開く )、Close ( 閉じる )、 Auto ( 自動 )	DC アイリスレンズのコントロールの種類を選択します。 [ Open ( 開く ) ] - DC アイリスを開いた状態で固定します。 [ Close ( 閉じる ) ] - DC アイリスを閉じた状態で固定します。 [ Auto ( 自動 ) ] - レンズのアパーチャを自動的に補正します。
DC-iris speed ( DC アイリス速度 )	0、1、 2...255	DC アイリスの絞り速度を調整します。
DC-iris calibration ( DC アイリスキャリブレーション )		絞り速度は、内蔵キャリブレーションメカニズムを使用して自動的に決定されます。
Set Backfocus now ( バックフォーカス設定 )		選択すると、アイリスを全開にします。特定のレンズの種類に対してバックフォーカスを設定するには、次の手順に従います。 この状態でフォーカスを対象に合わせると、光量の条件が変化してもピントがずれることはありません。
EXIT ( 終了 )		[ Install ( 設置 ) ] メニューに戻ります。

### DC アイリスレンズの調整手順

1. バックフォーカスロックボタンを解除します。
2. [ **Lens Wizard ( レンズウィザード )** ] メニューにアクセスします。
3. [ **Set Back Focus Now ( バックフォーカス設定 )** ] がメニューで強調表示されます。
4. バックフォーカスを必要に応じて調整します。
5. バックフォーカスロックボタンをロックします。
6. メニューを終了します。

### マニュアルアイリスレンズの調整手順

1. バックフォーカスロックボタンを解除します。
2. レンズの絞りを最大に開放した状態に調整します。
3. バックフォーカスを必要に応じて調整します。
4. バックフォーカスロックボタンをロックします。
5. シーンに合わせてレンズの開放状態を調整します。

### 5.6.3 [ Synchronization ( 同期 ) ] サブメニュー

項目	選択肢	説明
Synchronization ( 同期 )	Internal ( 内部同期 ) Line lock ( ラインロック )	[ Internal ( 内部同期 ) ] - カメラ内部で同期タイミングを処理します。 [ Line lock ( ラインロック ) ] - 電源周波数に同期します。
Vertical phase ( 垂直フェーズ )	0、1、... 359	垂直フェーズオフセットを調整します ( ラインロックモードで有効な電源周波数が検出された場合 )。
EXIT ( 終了 )		[ Install ( 設置 ) ] メニューに戻ります。

## 5.6.4 [ Alarm I/O (アラーム I/O) ] サブメニュー

項目	選択肢	説明
Input (入力)	None (なし)、high (高)、low (低)	アラーム入力を無効にするには、[ none (なし) ] を選択します。アラーム入力コネクタに対して、アクティブの [ high (高) ] またはアクティブの [ low (低) ] を選択します。
Input action (入力アクション)	None (なし)、モード 1 ~ 6、Night mode (ナイトモード)	アラーム入力アクティブである場合の、カメラの動作モードを選択します。
Output (出力)	Normally open (常開)、Normally closed (常閉)	リレー出力モードを選択します。
Output action (出力アクション)	VMD、Ext. device (外部デバイス)、Night mode (ナイトモード)、Filter toggle (フィルターの切り替え)	<p>[ VMD ] - VMD アラームで出力リレーが閉じます。</p> <p>[ Ext. device (外部デバイス) ] - 出力リレーを、リモート通信デバイスで利用できるようにします。</p> <p>[ Night mode (ナイトモード) ] - カメラがモノクロモードになると、出力リレーが閉じます。</p> <p>[ Filter toggle (フィルターの切り替え) ] - 出力リレーは IR フィルターが移動を開始する直前に閉じ、映像レベルが安定すると開きます (2 ~ 3 秒)。</p>
EXIT (終了)		[ Install (設置) ] メニューに戻ります。

### 5.6.5 [ Connections ( 接続 ) ] サブメニュー

項目	選択肢	説明
Bilinx Comms. ( Bilinx 通信 )	On ( オン )、 Off ( オフ )	[ Off ( オフ ) ] の場合は Bilinx 通信が無効になります。
Camera buttons ( カメラボタン )	Enable ( 有効 )、Disable ( 無効 )	カメラボタンの動作を [ Enable ( 有効 ) ] または [ Disable ( 無効 ) ] にします。
Cable compensation ( ケーブル補正機能 )	Off ( オフ )、 Default ( デフォルト )、 RG59、RG6	ケーブル補正機能を使用すると、1000m ( 3000ft ) までの長距離の同軸接続でもアンプが不要になります。最適な結果を得るには、使用する同軸ケーブルのタイプを選択します。不明の場合はデフォルト値を選択します。
Compensation level ( 補正レベル )	0、1、2... +15	ケーブル補正のレベルを設定します。
EXIT ( 終了 )		[ Install ( 設置 ) ] メニューに戻ります。

## 5.6.6 [ Test signals ( 信号テスト ) ] サブメニュー

項目	選択肢	説明
Show camera ID ( カメラ ID を表示 )	Off ( オフ )、 On ( オン )	[ On ( オン ) ] を選択すると、カメラ ID が映像テスト信号にオーバーレイ表示されます。
Test pattern ( テストパターン )	Color bars ( カラーバー )、 Raster ( ラスター )、 Impulse ( インパルス )、 Cross Impulse ( クロスインパルス )、 Crosshatch ( クロスハッチ )	希望するテストパターンを選択して、設置や障害検出に役立てます。
EXIT ( 終了 )		[ Install ( 設置 ) ] メニューに戻ります。

## 5.6.7 [ Camera ID ( カメラ ID ) ] サブメニュー

項目	選択肢	説明
Camera ID ( カメラ ID )		カメラ名を 17 文字で入力します。左 / 右キーを使用して文字列内の位置を移動し、上 / 下キーを使用して文字を選択します。選択キーを使用して終了します。
Display ID pos. ( ID 表示位置 )	Off ( オフ )、 Top left ( 左上 )、 Top right ( 右上 )、 Bottom left ( 左下 )、 Bottom right ( 右下 )	画面に表示されるカメラ ID の位置を選択します。
Camera ID border ( カメラ ID の境界線 )	On ( オン )、 Off ( オフ )	カメラ ID の背後にグレーの境界線を表示して読みやすくします。
MAC address ( MAC アドレス )		MAC アドレスを表示します ( 工場出荷時の設定、変更不可 )。
Ticker bars ( ティッカーバー )	On ( オン )、 Off ( オフ )	ティッカーバーは継続的に動いており、画像がライブであり、フリーズされていないこと、あるいは再生されていることを示します。

項目	選択肢	説明
Mode ID pos. (モード ID 位置)	Off (オフ)、 Top left (左上)、 Top right (右上)、 Bottom left (左下)、 Bottom right (右下)	画面の選択した位置にカメラモードを表示します。
EXIT (終了)		[ Install (設置) ] メニューに戻ります。

## 5.6.8 [ Privacy masking ( プライバシーマスク ) ] サブメニュー

項目	選択肢	説明
Mask ( マスク )	1 ~ 15	15 の異なる領域にマスクを設定できません。
Pattern ( パターン )	Black ( 黒 )、Grey ( グレー )、White ( 白 )、Noise ( ノイズ )	すべてのマスクに対してパターンを選択します。
Active ( アクティブ )	On ( オン )、Off ( オフ )	それぞれのマスクを [ On ( オン ) ] または [ Off ( オフ ) ] にします。
Mosaic ( モザイク )	On ( オン )、Off ( オフ )	モザイクを [ On ( オン ) ] または [ Off ( オフ ) ] にします。
Window ( ウィンドウ )	サブメニュー	選択すると表示されるウィンドウでマスク領域を定義します。

### プライバシーマスク領域の選択

プライバシーマスクの領域を設定するには、[ Privacy masking ( プライバシーマスク ) ] メニューの [ Area ( 領域 ) ] オプションを選択して、[ Area ( 領域 ) ] メニューにアクセスします。 [ Area ( 領域 ) ] メニューでは、左上に現在の領域が点滅して表示されます。画像の点滅している角は、[ Up ( 上 ) ]、[ Down ( 下 ) ]、[ Left ( 左 ) ]、[ Right ( 右 ) ] の矢印キーを使用して移動することができます。 [ Select ( 選択 ) ] キーを押すと、点滅しているカーソルが反対側の角に移動します ( この時点で、この角は移動可能になります )。 [ Select ( 選択 ) ] をもう一度押すと、この領域がフリーズされ、[ Area ( 領域 ) ] メニューが閉じます。

### 5.6.9 [ Flip (パン) ] サブメニュー

項目	選択肢	説明
Flip (パン)	Off (オフ)、 horizontal (水平)、 Vertical (垂 直)、 Both (両方)	パンモードを選択します。
EXIT (終了)		[ Install (設置) ] メニューに戻ります。

### 5.6.10 [ Defaults (デフォルト) ] サブメニュー

項目	選択肢	説明
Restore All (すべてデフォルトに戻す)	No (いいえ)、Yes (はい)	6つのモードの設定をすべてデフォルト(工場出荷時の)値に復元します。 [ YES (はい) ] を選択して [ Menu/Select (メニュー / 選択) ] ボタンを押すと、すべての値が復元されます。 完了すると、メッセージ「RESTORED! (復元されました!)」が表示されます。

## 6 トラブルシューティング

### 6.1 問題の解決

次の表は、動作不良の原因を特定する際にご利用ください。

動作不良	考えられる原因	解決方法
遠隔地に映像を転送できない。	カメラの故障。	モニターをカメラに接続して、カメラの機能を点検します。
	ケーブル接続が間違っている。	ケーブル、プラグ、接点、および接続をすべて確認します。
	ケーブル接続が間違っている。	DC 電源を使用する場合は、極性が正しいことを確認します。
接続が確立されず、画像が転送されない。	本機の設定が間違っている。	設定パラメーターをすべて確認します。
	取付不良。	ケーブル、プラグ、接点、および接続をすべて確認します。

## 6.2 カスタマーサービス

障害を解決できない場合は、販売店またはシステムインテグレーターにお問い合わせいただくか、直接 Bosch Security Systems のカスタマーサービスまでお問い合わせください。

保証や修理で参照できるように、設置者は本機に関するすべての情報を書き留めておく必要があります。ファームウェアのバージョン番号とその他のステータス情報は、本機の起動時や [ **Install ( 設置 )** ] メニューで確認することができます。カスタマーサービスに問い合わせる前に、これらの情報と、本機のラベルに記載されている情報を書き留めてください。

## 7 メンテナンス

### 7.1 修理

---



#### 注意

カメラの筐体は絶対に開けないでください。また、本機の部品をお客様自身で交換しないでください。本機のメンテナンスおよび修理は、有資格のサービススタッフ（電気技術者またはネットワーク技術者）がすべて行います。よくわからない場合は、販売店の技術サービスセンターにお問い合わせください。

---

#### 7.1.1 譲渡および廃棄

このカメラを譲渡する場合は、必ずこの『設置マニュアル』を添付してください。本機に使用されている材料には環境に害を与えるものが含まれています。廃棄する際は、必ず法律に従ってください。故障したり不要になったりしたカメラや部品を廃棄する際は、専門業者に依頼するか、地域の有害廃棄物収集場所に搬送する必要があります。

## 8 技術データ

### 8.1 仕様

タイプ番号	VBN-5085-C11	VBN-5085-C21	VBN-5085-C51
標準	PAL	NTSC	PAL
有効画素数	976×582	976×494	976×582
定格電圧	DC + 12V AC 24V ( 50Hz )	DC + 12V AC 24V ( 60Hz )	AC 230V ( 50Hz )

#### すべてのバージョン

撮影装置	1/3 インチ 960H CCD
解像度	センサーの解像度 720TVL
感度 ( 30IRE )	< 0.04lux < 0.02lux ( モノクロモード )
SNR	> 54dB
映像出力	1Vpp、75Ω
Synchronization ( 同期 )	内部同期、ラインロック
シャッター	オート ( 1/60 [ 1/50 ] ~ 1/100000 ) 固定、フリッカーレス、デフォルトから選択可能
デイナイト	カラー、モノクロ、オート
感度アップ	オフ ~ 10 倍まで調整可能
AGC ( 自動ゲイン調整 )	AGC のオン / オフ ( 0 ~ 40dB ) を選択可能
ダイナミックエンジン	XF ダイナミック、HDR、スマート BLC
ダイナミックレンジ	94dB
ダイナミックノイズ低減	3D-NR、2D-NR
シャープネス	シャープネスのレベルを選択可能
ホワイトバランス	ATW indoor ( ATW ( 屋内 ) )、ATW outdoor ( ATW ( 屋外 ) )、ATW 維持、およびマニュアル

Contrast Enhancement (コントラスト増強)	Low (低)、Medium (中)、High (高)
レンズタイプ	マニュアルまたは DC アイリス
レンズの取り付け	CS 互換、オプションのアダプターリングにより C マウントに対応
テストパターンジェネレーター	カラーバー、Raster (ラスター)、Impulse (インパルス)、Cross Impulse (クロスインパルス)、クロスハッチ
映像動体検出 (VMD)	4 つの領域をすべてプログラム可能
プライバシーマスク	15 の独立した領域をすべてプログラム可能 (黒、白、グレー、ノイズ)
E-ズーム	最大 16 倍
デジタルブレ補正	オン / オフ
通信	双方向 Bilinx
言語 (OSD)	英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語
モード	6 つの設定済みプログラム可能モード: 24 時間、トラフィック、低光量、スマート BLC、低ノイズ、鮮明
ピークホワイト反転	シーンのハイライトを抑制
消費電力	DC 12V、360mA、AC 24V、330mA、AC 120 ~ 240V、60mA
寸法 (高さ × 幅 × 奥行き)	58×66×122mm (レンズを含まない)
重量 (DC 12V / AC 24V)	500g (レンズを含まない)
重量 (AC 230V)	600g (レンズを含まない)
三脚設置	下部 (絶縁) および上部 1/4 インチ 20UNC

動作温度	- 20 °C ~ + 55 °C
コントロール	OSD およびソフトキー操作

## 8.1.1 外観図

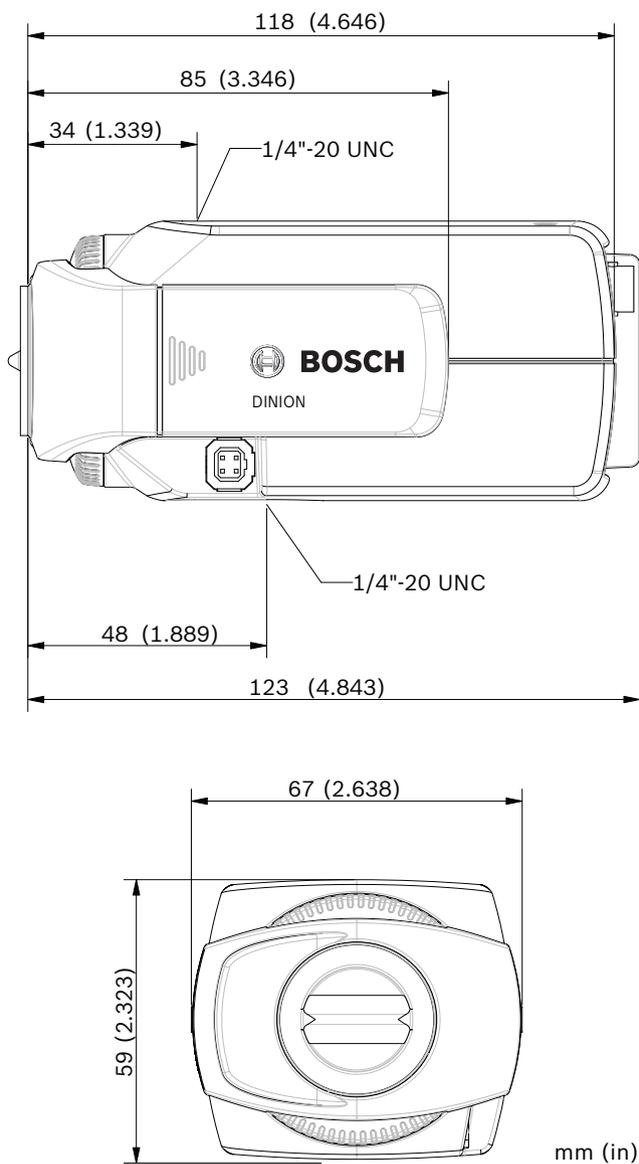


図 8.1 外観図

## 8.1.2 アクセサリ

- 屋内取付キット
- 屋外用ハウジング
- レンズ (バリフォーカル、固定、およびモーター駆動型ズーム)
- Bilinx 通信インターフェースボックスおよびソフトウェア

最新のアクセサリについては、最寄りの Bosch 販売店までお問い合わせいただくか、Web サイト [www.boschsecurity.com](http://www.boschsecurity.com) をご覧ください。





**Bosch Security Systems**

**[www.boschsecurity.com](http://www.boschsecurity.com)**

© Bosch Security Systems, 2013